

豊田 兼彦
法学研究科・教授

[研究]

主たる研究分野である共犯に関し、論文2本を公表したほか、日本刑法学会のワークショップでオーガナイザーを務めた。科研費を得て行っている「幫助行為の促進性に関する研究」については、引き続き、日独の関連資料を収集し、検討した。前記論文のうち1本は、その成果の一部である。

共犯以外では、実行の着手に関する論文1本を公表した。

[教育]

授業は、全学共通教育科目の「学問への扉(犯罪白書を読む)」、法学部の「演習」と「法政基礎演習」、法学研究科の「刑法」、「刑法特殊講義」及び「公法の基礎」、高等司法研究科の「刑法基礎1」、「刑法基礎2」及び「導入演習」を、それぞれ担当した。このうち、高等司法研究科の「刑法基礎1」は、担当開始以来5年連続で教員表彰を受け、「刑法基礎2」も、担当開始からの3年間で2度目となる教員表彰を受けた。

以上のほか、高等司法研究科と関西大学法科大学院との教育連携の一環として、今年度も、両法科大学院の学生を対象に、刑法の共同セミナーを企画し、講師を務めた。

学生向け教材については、判例教材(分担執筆)1点を刊行し、刑法各論の教科書(分担執筆)1点を改訂した。また、憲法・民法・刑法の学び方についての座談会が「法学教室」に掲載された。

[管理運営]

全学では、教育課程委員会、マルチリンガル教育連絡協議会の各委員を務めた。

部内では、法学部教務委員会委員長のほか、法学部運営委員会、法学研究科運営委員会、計画室、高等司法研究科・法学部(法曹コース)連携協議会の各委員を務めた。

[社会貢献]

司法試験予備試験考査委員として、司法試験予備試験論文式試験(刑法)の答案を審査した。

大阪府青少年健全育成審議会委員として、同審議会の会議に参加した。

大阪府立大手前高等学校の阪大研修において模擬講義を行った。また、帝塚山高等学校で出張講義を行った。